

船橋市放課後ルームへの障害児の入所の手続きに関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、船橋市放課後ルーム条例（平成11年船橋市条例第33号。以下「条例」という。）第4条第1号の規定に関し、必要な事項を定めるものとする。

(健康状態等の申し出)

第2条 船橋市放課後ルーム（以下「ルーム」という。）に児童を入所させようとする保護者は、入所させようとする児童の健康状態を別に定める児童健康状況調査表により申し出なければならない。

2 前項に規定する児童健康状況調査表により心身に障害があるとされた児童（以下「障害児」という。）の保護者は、当該児童の障害の程度、生活状況その他必要な事項について、面接等の方法により申し出なければならない。

(体験入所)

第3条 条例第4条第1号に該当するか否かを判定するため、障害児は、市が指定するルームにおいて体験入所をしなければならない。

(観察員)

第4条 障害児を観察するため、観察員をおく。

2 観察員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 公立保育所園長
- (2) 放課後ルーム園長
- (3) 障害福祉施設職員
- (4) 教育委員会指導課指導主事
- (5) 教育委員会保健体育課指導主事
- (6) その他必要があると認める者

3 観察員は、体験入所を行っている障害児を観察し、観察記録により報告しなければならない。

(入所判定)

第5条 入所の判定に際し、保護者との面接の記録、観察記録等を参考にするものとする。

(入所許可の取消し)

第6条 前3条の規定は、条例第5条第2号の規定に基づく条例第4条第1号に該当する場合の入所の許可の取消しについて準用する。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成13年2月1日から施行する。